

人とちがつていい

小二

わたしのクラスに、ずっとマスクをしている友だちがいきました。その友だちは、きゅう食のときもマスクをはずしません。マスクの下のすき間からきゅう食を口にはこんでいました。それを見ていたべつの友だちが、
「マスクをはずしたら。」
と言いました。その子はマスクをはずそうとしませんで

した。

わたしは、そのとき、「どうしてはささないのだろう。」とふしぎに思いました。でも、あとになってコロナウイルスがはやっていたときに、ずっとマスクをつけてすごしていたことで、マスクをはずすことにふあんをかんじるようになってしまった人がいることを知りました。

それまでのわたしは、マスクをはずすことが当たり前だと思っていたけれど、みんなが同じ気もちではないことに

気がつきました。その子にとって、マスクをつけたままにいることがあんしんなんだと思います。だから、「はずしたほうがいいのに。」ときめつけるのではなく、「その子があんしんできるほうがいい。」と思うようになりました。

このことから、友だちや家ぞくと考えがちがつていても、自分の気もちはつたえていいし、あいての考えを聞くことが大切だとかんじました。

そして、自分とはかんじかたや思っていることがちがう

人がいるのは、おかしいことではなく、当たり前のことだと分かりました。

だからこれからは、あいてのことを考えてこうどうして、自分が思っていることをつたえられる人になりたいです。